



# 北海道キャンプ協会 かわら版

2017. 8. 1

北海道キャンプ協会 発行

## 「若手だからこそ」

今日では SAN(Social Active Network of outdoor education)や、全国野外教育学生ネットワーク、KOL(Kansai Outdoor Leaders)といった、若手野外教育指導者団体が設立され、精力的に活動を行っています。そして北海道の地でも、北海道キャンプ協会次世代指導者団体えぞっぴや、若手指導者研修会など、若手の野外教育指導者が集まり、キャンプの啓発活動や指導者研修等を行っています。本巻頭言では、今までこれらの団体と繋がる中で、「若手だからこそ」①やれる事、②やるべき事、③やっていきたい事の3つの視点で感じた事を述べさせて頂きたいと思います。

### ① チャレンジ

先輩や上司の方と比べると、若手は経験知や技術など、相対的に当然低いレベルにあると思います。それ故に、自身の活動の幅を制限してしまったり、上司の顔色を気にして活動を行ってはいないでしょうか。しかし翻って考えると、若手だからこそ、ある意味怖いもの知らずな面や、失敗を恐れない気持ちを持てるのではないのでしょうか。また、先輩や上司がいる時だからこそ、多くの失敗から、アドバイスが貰えるチャンスなのではないのでしょうか。若手らしい「少し無茶」なチャレンジが、新たな価値の創出や、組織ひいてはキャンプ業界の突き上げに繋がるのではないかと思います。そして先輩の皆さんも、そういった若手の突き上げを望んでいるように感じます。

### ② カッコいい背中を見せる

キャンプのスタッフやカウンセラー、リーダーを担う多くは、大学生や専門学生であると思いますが、彼らが次世代のキャンプ業界を担っていく人材である事は言うまでもありません。しかし、進路としてキャンプ業界へと進む人が多いかという点、そうは言えないのが現状です。そんな彼らと、一番近くで関わるのは、若手の指導者であると思います。そういった意味では、若手指導者が、憧れられる対象として在る事が非常に大切であるように思います。「こんな人になりたい」「こんな活動をやっていきたい」、そう思わせられるような、カッコいい背中を見せることは、若手指導者の使命なのではないでしょうか。

### ③ 夢を語る

時間とエネルギーがある若手だからこそ、夢を持ち、夢に向かって歩む事が大事であるように思いますが、忙しい日々の中で「夢」を見失っている現状もあるように感じます。だからこそ今、夢を語る場が必要であるように思います。夢を語らい(お酒片手に)、共有し、サポートしたり、してもらったりと、心と心を繋げる機会を作る。そんな中で多くの絆を創っていったなら、その中で生まれるエネルギーは、キャンプ業界全体をさらに盛り上げていけるような巨大なものになるのではないかと思います。

さて、ここまで私の感じた事を述べさせて頂きましたが、先にも述べたように北海道には「えぞっぴ」や、「若手指導者研修会」など、若手が集まる器ができています。チャレンジする場として、カッコいい背中を見せるトレーニングとして、夢を語る機会として、ぜひ一度活動へ参加してみたいでしょうか。「若手だからこそ」を全力で。

徳田真彦(北翔大学)

# 指導者養成担当より

## キャンプインストラクター養成講習会が行われました！

5月12日（金）から14日（日）の2泊3日で北海道キャンプ協会主催「キャンプインストラクター養成講習会」が行われました。会場は札幌市南区の滝野すすらん丘陵公園内にある札幌市青少年山の家。道内各地から合計15名の方にご参加いただきました。野外教育や施設の指導者、青少年活動の指導者、キャンプ場の運営スタッフ、公務員、会社員、指導者の道へ進まれる予定の学生さんなどバラエティーに富んだメンバーが集まり、講習会はこれまでになく和気藹々とした雰囲気で行われました。講義や実技から学ぶことはもちろんですが、それだけではなく、新たにできる人とのつながりもこの講習会の魅力のひとつ。この講習会でできたつながりを今後も大切にしていきたいなあと感じる3日間でした。

講習会は3日間とも天候にも恵まれ、すべて予定通りにプログラムを進めることができました。実技研修においては、ここ数年講習会の定番となりました懐かしの三角テントが今年も登場。試行錯誤しながら設営研修を行いました。皆さんノーヒントで見事に設営完了。「懐かしい〜」という声が多く聞こえてきましたが、「初めて見た〜！」という声もちらほらと。

ご協力いただいた講師、運営スタッフの皆様、ご協力ありがとうございました。（この講習会の運営はすべて会員によるボランティアで行われています）新たにインストラクター資格を取得し、北海道キャンプ協会の一員になられた15名の皆様。おめでとうございます。皆様のご活躍を心より期待しております。一緒に北海道の活動を盛り上げましょう！



# 啓発活動・会員交流担当より

今後開催予定の BUC 事業

## もしとき防災グッズ

**もしものとき**に備えた防災グッズはご用意してありますか？その道具は使ったことがありますか？実は準備していても、使ったことがないという方が多いのではないのでしょうか？ぜひ、この機会にみなさんの家にある防災グッズを持ち寄って使って、試してみませんか？また、最新の防災グッズもご紹介します。川の水を飲み水に変える道具や乾パン以外の非常食などもご紹介しますので、実際に使ってみましょう！

日時 平成 29 年 9 月 2 日（土）9:00～12:00  
会場 NPO 法人子ども共育サポートセンター  
（札幌市豊平区中の島 1 条 9 丁目 2-18）  
定員 20 名  
対象 日本キャンプ協会公認指導者及び一般の方  
参加費 【キャンプ協会会員の方】 1,500 円【一般の方】 2,000 円  
申込締切 平成 29 年 8 月 28 日（月）



## メ縄作り体験

1mの大きな手作りの正月飾りを体験して、日本の文化に触れてみましょう♪

日時 平成 29 年 11 月 26 日（日）9:30～13:30  
会場 小樽からまつ公園運営ハウス（小樽市最上 2-3-1）  
定員 15 名  
内容 ・ 玄関飾り ・ なわない ・ 輪メ など  
参加費 【キャンプ協会会員の方】 1,000 円 【一般の方】 1,500 円  
作品を持ち帰りたい人は別に 1,300 円（材料費）が必要です。  
※参加費はキャンプ協会会員・一般を問わず、当日ご持参ください。  
持ち物等 昼食 服装：長袖・長ズボン  
申込締切 平成 29 年 11 月 20 日（月）まで

# 指導者交流会

キャンプ協会の方はもちろん、野外団体の職員の方や、指導者を目指す若者の皆さん、ボランティアスタッフの皆さんなど、様々な形でキャンプに関わっている方々が一斉に集う特別な日です。夜は灯りを囲み皆さんで楽しくキャンプファイヤーを行います！翌朝はオプションプログラムを予定しています、ぜひご参加ください！

日 時 平成 29 年 8 月 25 日（金）～26 日（土）17:00～翌日 9:30  
日帰り参加可  
会 場 滝野自然学園（札幌市南区滝野 106 番地）  
定 員 20 名  
対 象 日本キャンプ協会公認指導者及びキャンプに関わる指導者の方  
参加費 2,000 円  
申込締切 8 月 11 日（金）



# 北海道キャンプフェスタ 2017

北海道キャンプフェスタはキャンプの楽しさを広く伝え、北海道キャンプ協会を知っていただくイベントです。今年は『**大人も子どもも楽しめるアウトドア**』をテーマに様々な団体が楽しい体験ブースを設けて実施いたします！スラックラインや焼き芋体験、アウトドアギアの展示会など、他にもたくさんのブースを用意する予定です。大人も子どもも楽しめる内容ですので是非ご参加ください！

日 時 平成 29 年 9 月 30 日（土）10:00～15:00  
会 場 札幌市定山溪自然の村  
札幌市南区定山溪（豊平峡ダム下流国有林野）  
対 象 子どもから大人までどなたでも  
参加費 無料（一部実費負担あり）

各種事業のお申し込みについては、ホームページの申し込みフォームまたは、下記事務局までお申し込みください。

メールでのお申し込みの際は、住所・氏名・性別・年齢・連絡先・会員番号（会員の方）をご記入の上、ご連絡下さい。

## 北海道キャンプ協会事務局

〒047-0155 小樽市望洋台 2-14-1 望洋ガ イルツ (特)自然教育促進会内 担当：安原、岩崎  
お問い合わせ TEL 0134(52)3240 FAX 0134(51)5667  
E-mail : office@hokkaidocamp.com URL : <http://www.hokkaidocamp.com/index>